
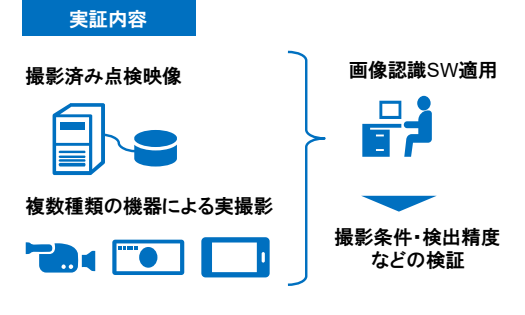


重点テーマ 1: 移動体監視による路面状況等把握の効率化

部会名	市販デバイスを用いた路面状況把握
代表団体	株式会社 東芝
実証内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドライブレコーダーやスマートフォンなどを用いて車内から撮影された映像から、画像認識技術を用いて高速道路の状態把握、異常検知をおこない、交通管制などに活用する。 ・ 保有する画像認識技術（例：3次元再構成技術^{※1}、パターン認識技術^{※2}）を適用し、ポットホールなど路面状況把握・異常検知の実用性を実証する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>想定システム</p>  <p>交通管制センターへの通知 適切な対応・処置</p> <p>ポットホールなど点検対象を検知</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>実証内容</p>  <p>撮影済み点検映像</p> <p>複数種類の機器による実撮影</p> <p>画像認識SW適用</p> <p>撮影条件・検出精度などの検証</p> </div> </div> <p>※1 : https://www.toshiba.co.jp/rdc/detail/12_t11.htm</p> <p>※2 : https://www.toshiba.co.jp/tech/review/2019/05/74_05pdf/f01.pdf</p>
検証内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活用ケースの洗い出しおよび業務サイクルへの落とし込み ・ 保有する画像認識技術による路面状況把握の可能性を検証
実証場所	NEXCO 中日本管内の高速道路
実証開始時期	2020年4月

重点テーマ 2: 変状データ分析・維持修繕計画策定の高度化

部会名	三次元データ活用による構造物・変状等データ管理の業務適用
代表団体	三菱電機株式会社
実証内容	<p>本部会では、「三次元データ活用による構造物・変状等データ管理の高度化」に向け、三次元データ管理のシステム実証活動を実施し、技術要件と効果を検討する。 以下に実証を踏まえた実施フローを示す。</p> <pre> graph TD A[1. 現行業務フローと課題] --- B[2. 課題に対する 三次元データ活用シナリオ] A --- B B --> C["(活用シナリオについて) 3. 既存データを活用した三次元データ管理実証 (実証 1)"] C --> D[4. 業務データと三次元データの統合管理検討] D --> E["(データ管理基盤上での) 5. 変状データの三次元データ管理実証 (実証 2)"] E --> F[6. 維持管理業務への三次元データ管理・活用要件の整理 及び効果検討] </pre>
検証内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存データを活用した三次元データ管理手法の検証 ・ 変状データの三次元管理手法の検証
実証場所	NEXCO 中日本管内の高速道路
実証開始時期	2020年4月